

## 平成24年度海老名市介護保険運営協議会委嘱式及び第1回会議 結果

日 時：平成24年4月24日（火）  
午後1時30分～午後2時30分  
場 所：海老名市役所 政策審議室

### 出席委員 14名

田中委員、山川委員、山名委員、池田委員、露木委員、花田委員、新倉委員、  
樋口委員、橋本委員、内田委員、吉野委員、千葉委員、西海委員、三田委員

### 海老名市

内野市長

### 事務局（保健福祉部） 7名

猪熊理事兼保健福祉部長、清田保健福祉部次長、長田参事兼高齢介護課長、  
内田介護保険係長、萩原高齢者支援係長、中島介護認定係長、室山

### 1. 開 会 （司会:長田参事兼高齢介護課長）

### 2. 委嘱状交付

※内野市長より各委員に交付。

### 3. 市長あいさつ（内野市長）

ただいま介護保険運営協議会委員14名の方に委嘱をさせていただきました。今後3年間よろしくお願ひしたい。

介護保険制度は高齢者の暮らしを支えるものとしてなくてはならないものとなっている。海老名市の要介護認定者は3千人を超え、高齢化率は19.3%に及んでいる。高齢者の人口も海老名市の人口12万8千人に対して2万5千人となっており、今後介護サービスの利用が増えることは間違いない。

海老名市においては、先の介護保険運営協議会で承認していただき、介護保険料を3,500円から3,900円に上昇することとなったが、これは県内市町村で4番目に低い額であり、神奈川県内の平均が4,787円、全国平均が4,972円と比べても低い額であると言える。

介護保険給付費は今後3年間で177億円に上る見込みであり、単年度でも55億円と推計している。現在3百数十人の待機者がいることから、第5期では100床の特別養護老人ホームを増設し、市内特養を513床とする予定だが、増設により介護給付費も増加することになる。

また、在宅での介護も老々介護が増加しているなどの問題があることから、今年度海老名市では在宅介護者のリフレッシュ事業や買い物支援事業の実施を予定している。

介護保険事業の安定した運営のため、お力添えをお願いしたい。

4. 委員自己紹介（委員各自）

5. 事務局紹介（長田参事兼高齢介護課長）

6. 会長・副会長選出（委員互選）

委員①：事務局一任との声あり。

事務局：事務局一任とのことですので、会長に田中委員、副会長に山川委員を推薦します。いかがでしょう。

全委員：承認。

7. 会長・副会長あいさつ（田中会長・山川副会長）

田中会長：

会長を務めさせていただきます、医師会の田中です。

これからの介護保険制度では、医療と介護の連携というものが重要になってきます。先ほど海老名市の高齢化率は19.3%というお話がありましたが、中央地区では8%台である一方、さつき町や国分寺台地区では30%を超えています。

そのため、在宅介護に向けてのシステム作りが重要になってきます。その基になるのが、高齢者プラン21です。

より良い介護システムを作るために、委員の皆様には様々な視点からのご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくおねがいします。

山川副会長：

副会長を務めさせていただきます、歯科医師会の山川でございます。運営協議会委員は7年目となります。

昨年の運営協議会では、介護保険料額について審議をさせていただきましたが、集めた介護保険料をどう使うのかが、制度の運営にとって重要になります。制度を健全に運営する上で、運営協議会の議論は非常に重要な役割を担っています。

委員の皆様の活発なご意見を願います。

※内野市長、猪熊理事退席。

※田中会長、山川副会長席移動。進行は田中会長に。

8. 議 題（進行：田中会長）

(1) えびな高齢者プラン21【第5期】について（萩原係長・内田係長）

- ・高齢者プラン21は3年ごとに事業計画として作成し、実施している。
- ・基本理念は「健康で自立した生活を送ることができる地域づくり」
- ・現状の課題、評価を踏まえて計画を作成している。
- ・市内でアンケート調査を実施し、それを踏まえて作成している。
- ・基本目標が3つある。
  - I 健康生活を送るための事業推進《健康に暮らすために…》
  - II 高齢者地域ケア体制の推進《自宅で生活を続けていくために…》
  - III 介護保険制度の適正な運営《有効に利用してもらうために…》
- ・それぞれの基本目標に施策体系を設けている。
- ・介護保険制度についても、現状の課題、評価を踏まえて計画を作成している。
- ・計画期間の人口の推計等を基に各介護サービスの利用状況の予測をしている。
- ・地域密着型サービス事業の新規事業として、定期巡回・臨時対応型訪問介護看護、複合型サービスがあるが、現状、市内参加者がいないことから、計画での位置づけはない。
- ・平成25年に特別養護老人ホーム、平成26年にグループホームの整備を予定している。

委員②:施設入所の相談が多いので、特別養護老人ホームとグループホームができるのは良い。

委員③:少子高齢化社会に突入している。需要と供給のパイプ役としてニーズに合ったサービスを提供することが必要。

委員④:高齢者人口の増加に伴い介護予防事業が重要であり、大変なものになっていく。

委員⑤:地域の見守りネットワークが重要になる。市の連絡体制はどうなっているのか。

事務局:昨今孤立死が増加しているなか、連携の必要性は感じている。庁内、部内で連携して対応ができるよう、体制の立ち上げをしているところ。

委員⑥:ふれあい訪問とはどのような事業なのか。また、誰が行っているのか。

事務局:見守りを含めたゴミ出し事業。以前はゴミ出しがメインだったが、昨年から見守り・安否確認に重きを置いて実施している。市が社会福祉協議会に委託して行っている事業で、実際の訪問は地域のシルバー人材センターの方が行っている。

(2)海老名市介護保険施設等公募選定委員会委員の推薦について

事務局:海老名市介護保険施設等公募選定委員会委員について当協議会から1名推薦をいただきたいと思います。

委員⑦:事務局一任との声あり。

事務局:事務局一任とのご意見がありましたので、「えびな高齢者プラン21【第5期】」の策定委員でもあり、民生委員児童委員協議会の会長でもあられた吉野委員はいかがでしょうか。

吉野委員:了承。

(3)その他(内田係長)

- ・配布資料説明。
- ・報酬についての手続き説明。

第2回協議会は、8月中～下旬に開催を予定。

田中会長:発言されてない委員の方から何かありますか。

委員⑧:目の前に認知症の方がいても一般市民はどうしていいかわからない。そういった指導やケアも必要。

委員⑨:市の独自の介護保険を充実させることが大切。

7. 閉 会 (山川副会長)